

## チューター推薦書

令和 年 月 日

学 長 殿

## 【推薦教員】

所属

氏名

(押印省略)

下記のとおりチューターを推薦します。ご承認くださるようお願いいたします。

## 記

実施期間： 年度 前期 ・ 後期  
 総時間数： 時間 (グループ全体の合計時間数)

## 1. 支援対象の外国人留学生 ★人数に応じて欄を追加してご記入下さい。

	留学生氏名	所属	学籍番号	支援種別(支援上限時間)※支援時間は半期分
①		学部・学府・研究科 専攻・学科 研究生・B・M・D 年次		<input type="checkbox"/> 新規渡日者生活支援(10時間) <input type="checkbox"/> 学部生支援(40時間) <input type="checkbox"/> 大学院生支援(20時間) <input type="checkbox"/> 国費研究生支援(20時間) <input type="checkbox"/> 上記支援終了後の継続支援(20時間) <input type="checkbox"/> その他 →これらの場合、理由書(裏面)ご記入ください

## 2. チューターとして推薦する学生 ★人数に応じて欄を追加してご記入下さい。

	リーダー (1名)	チューター学生氏名	学部・学府 ※農工大所属ではない場合のみ大学名称も記入	学籍番号	携帯電話番号	メールアドレス
①	<input type="checkbox"/>		学部・学府・研究科			
②	<input type="checkbox"/>		学部・学府・研究科			
③	<input type="checkbox"/>		学部・学府・研究科			

## ※以下、ご確認の上チェックボックスにチェックをお願いします。

担当留学生との連絡のため、上記学生のメールアドレスを担当留学生に知らせる場合があります。  
 (携帯電話番号は、事務局からの連絡用にのみ使用致します。留学生には共有しません。)

このことについて本人の了承を得ました。

★本様式 A-2 はグループ支援を実施される場合の様式です。  
 1対1での個別支援の場合には、様式 A-1 をお使い下さい。

チューター支援には下記区分がありますが、④の継続支援を希望する場合または該当するものがない場合は、理由書にご記入の上ご提出ください。理由書を基に認められた場合のみ、チューターが配置されます。(①～③に該当する場合は、理由書のご記入は不要です。)

- ① 新規渡日者の生活支援 (原則渡日後 1 ヶ月、支援時間 10 時間まで)
- ② 学部生支援 (入学後1年間、支援時間 80 時間 ※前期・後期それぞれ 40 時間まで)
- ③ 大学院生支援 (渡日後半年間、支援時間 20 時間まで)
- ④ 国費研究生支援 (渡日後半年間、支援時間 20 時間まで)
- ⑤ 学部・大学院留学生への継続支援 (①～③対象外の留学生、支援時間半期あたり 20 時間まで)

## 理由書

指導教員：

外部資金等で支援財源が措置されているため

事業名称：

(例：JICA 研修員事業)

その他 (ワークスタディ予算を 使用する 使用しない)

下記留学生については、通常のチューター支援対象外ですが、以下理由により追加のチューター支援が必要な状況です。

### チューター配置を必要とする留学生

留学生氏名	所属	学籍番号
	学部・学府・研究科 専攻・学科 研究生・B・M・D 年次	

★本様式 A-2 はグループ支援を実施される場合の様式です。  
1対1での個別支援の場合には、様式 A-1 をお使い下さい。